

令和3年(2021年)12月26日～27日
強い冬型の気圧配置による大雪
(滋賀県などで大雪)

～ 「自らの命は自らが守る」 社会を支える取組 ～

大阪管区気象台



大雪による交通障害が多数発生。除雪作業時の人的被害のほか、住家や農業施設の被害、倒木などによる停電が発生。

(高速道路の通行止め、国道・県道では車両スタックによる通行止めや長時間の交通滞留が発生。)

【概要】

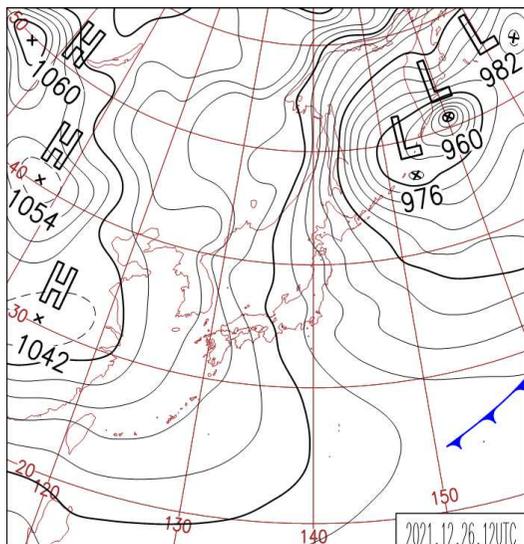
令和3年12月26日から27日にかけて、日本付近は強い冬型の気圧配置となり、近畿地方では日本海側で大雪となった。

滋賀県では、12月26日の彦根の降雪の深さ日合計が57センチ(極値順位1位※1)、今津の積雪差日合計が55センチ(極値順位5位※1)、12月27日の米原の最深積雪が69センチ(月最深積雪の極値順位4位※1)となるなど、北部及び東近江を中心に大雪となった。

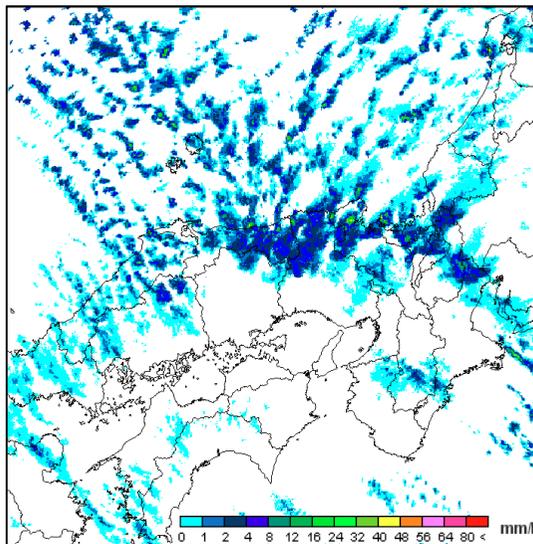
この大雪により、滋賀県では除雪作業中の転倒・転落による人的被害、交通障害(高速道路、国道、県道の通行止めや鉄道、路線バスの運休など)が発生したほか、住家や農業施設の被害、倒木による停電などの被害が発生した。

※1 統計は令和3年12月31日現在

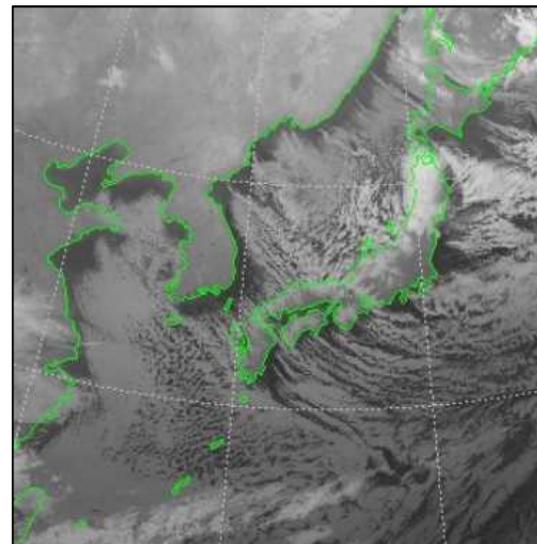
彦根の統計期間：昭和28年1月～、今津の統計期間：昭和56年11月～、米原の統計期間：平成13年11月～



地上天気図
(令和3年12月26日21時)



気象レーダー画像
(令和3年12月26日21時)



衛星赤外画像
(令和3年12月26日21時)

